

単元名：むかしあそびたいかいをひらこう

「むかしからつたわるあそびをたのしもう」

男子12名 女子15名 計27名

指導者 野本 麻衣

**単元について****○ 単元観**

本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」を受けて設定した単元である。本単元では、昔遊び体験を通して、「もっと上手になりたい」「もっと楽しく遊びたい」という思いや願いを達成していく過程の中で、友達や地域の方とのかかわりを深めたり、その楽しさに気付いたりすることができるようにすることをねらいとする。低学年の児童にとって、遊びは人とのかかわりを深めるために必要不可欠なものである。昔遊びは手先や膝、腰など体を使った遊びがたくさんあり、技ができるようになるためには、繰り返し練習することが必要であるため、普段なかなか経験することのできない満足感や充実感も味わわせることができる。自分の成長、相手のよさに気付く力を高め、進んで人とのよりよいかかわり合いをもとうとする意欲をもたせることをねらいとした単元である。

**○ 児童観**

本学級の児童は、すべての児童が保育所や幼稚園、町のイベントなどで、けんだまやこま、面子、竹馬、羽子板などの昔遊びを体験したことがある。しかし、得意なものがある児童もいれば、少し触った程度の児童もおり、体験の差は大きい。また、昔遊びで遊ぶ楽しさを感じていたり、技がたくさんあることを知っていたり、遊び方のコツを教えてもらったりしていても、名人と言えるほど遊びの技術が高い児童はいない。

「遊びに関するアンケート」(平成30年8月30日実施 回答数27名)の「これまでにしたことのある昔遊びは誰としましたか」(複数回答可)という設問の結果は、「ひとりで」74%、「兄弟姉妹」66%、「友達」74%、「お父さん、お母さん」74%、「おじいちゃん、おばあちゃん」18%、「地域の人」11%であった。この結果から、祖父母や地域の人と交流するという経験が少ないことが分かる。そこで、様々な昔遊びを得意とする地域の方を招いて、昔遊びを教えてもらうことで、遊びの楽しさを感じ、身近な人とかかわることの楽しさを体験することは、新たな気付きの面からも有意義であると考えられる。

**○ 指導観**

指導に当たっては、昔遊びの中でも、技に広がりがあったり、コツをつかむことで上達を感じられたりするこま、けんだま、お手玉、あやとり、面子を取り上げる。「もっと上手になりたい」「もっと楽しく遊びたい」という願いをもたせる工夫をし、友達と相談しながら練習したり、昔遊びの先生に教えてもらったりしながら、うまくできるようになるコツを見付けさせることができるよう単元を構成する。また、地域の方にゲストティーチャーとして来ていただくことで、自分たちの身近な人の楽しさやかかわる楽しさに気付かせることができると考える。

課題の設定では、おじいちゃんやおばあちゃんたちの子どものころの遊びと今の自分たちの遊びを

インタビューや自分の体験をもとに出し合い、比較させながら、今と昔の遊びの違いに気付かせ、昔の遊びについて興味を持たせる。また、こま、けんだま、お手玉、あやとり、面子を教室に置き、児童が自然に手にとって遊べる環境を整える。

情報収集の過程では、自分たちではうまくいかなかったことを教えてもらったり、もっと上手になりたいという思いをかなえたりするために、地域の方を昔遊び名人のゲストティーチャーとしてお招きする。自分自身で体験したり活動したりして、感じたことや気付いたり分かったりしたこと、考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどを伝え合い、交流する活動を行いながら、思いや願いを実現するためには、上手な人から技のコツを学ぶとよいことに児童自身に気付かせ、体験活動をより充実させていく。練習の中で生まれた「こうやったらうまくできたよ。」「〇〇さんはこんなふうに行っているから上手なのかな。」「おじいちゃんがこんなふうにしてみたらいいよと教えてくれた。」といった気付きは、「めいじんカード」に書き記し、質を高めていく。

整理・分析の過程では、それぞれ一つに決めて練習してきた遊びがあることをふまえ、上手くなった昔遊びを教える側、他にも上手になりたい昔遊びを学ぶ側に分かれ、コツの交流をする。その際「めいじんカード」を用いて教えたり、自分が上手になりたい遊びの名人から見付けたことを新しく書きとめたりさせる。友達からうまくなるひみつを見付け出すことで、友達から学ぶよさに気付かせることもできる。そして、昔遊び大会に向けてさらに練習していこうとする意欲をもたせたい。

本単元では、自己を理解する力として、教えてもらったりお世話になったりした人たちを招いて、できるようになった技を披露する会を開く。昔遊びの先生や同じ名人を目指す友達とかかわる中でどんなところが変わったのか、友達のよいところはどんなところだったのかなど、自分や友達の成長を知り、互いを認めていけるようにしたい。

### 単元の目標及び内容について

- 昔からの伝統的な遊びに興味をもち、楽しく活動したり友達や地域の人に進んでかかわったりすることができる。 【生活への関心・意欲・態度】
- 友達と教え合ったり、地域の人などから教えてもらったりしながら、遊びを工夫することができる。また、活動の中で気付いたことを、言葉で表現したり伝え合ったりすることができる。 【活動や体験についての思考・表現】
- 昔遊びを通して、友達と教え合って遊ぶことの楽しさや工夫して遊ぶことのおもしろさ、地域の人や友達の知恵や優しさに気付いたり、できなかったことができるようになった自分や友達の成長にも気付いたりすることができる。 【身近な環境や自分についての気付き】

### 単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
昔からの遊びに興味をもち、地域の方や友達に進んでかかわろうとしている。	友達と教え合ったり、地域の人から遊び方のコツを教わったりして工夫して遊んでいる。 活動から気付いたことを、カードに表したり言葉で伝え合ったりしている。	昔からの遊びに挑戦し、教え合う楽しさや工夫するおもしろさ、地域の方とふれあう楽しさに気付いたり、努力している友達や自分のよさに気付いたりしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・地域の人に自分から進んで尋ねたり、友達と相談したりして身近な人に積極的にかかわろうとしている。	・地域の人に尋ねたり、友達と相談したりして身近な人にかかわろうとしている。
【思考力】	・昔遊び体験を通して、友達のよいところや工夫しているところを遊びのコツと関連付けたり、練習の前後の様子を比べたりして考えている。	・昔遊び体験を通して、遊びのコツを見付け、友達のよいところや工夫しているところと関連付けて考えている。
【自己理解】	・友達との遊びを工夫したり、昔から伝わる遊びの楽しさや、地域の人の優しさ、人とかかわる楽しさに気付いている。	・昔から伝わる遊びの楽しさや、地域の人の優しさ、人とかかわる楽しさに気付いている。

指導と評価の計画

全8時間

次	時	学習内容	評価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
一	1	<b>課題の設定（1）</b> ○昔の遊びと今自分たちがやっている遊びを比較しながら、昔の遊びをやってみたい、教えてもらいたいという気持ちを高める。 ・事前に家族や地域の人から聞き取った遊びについてのアンケートや自分の体験などを想起し、アンケートに出てきた昔遊びに取り組む。 ・昔遊び大会を開こうという学習のめあてをもつ。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元でつけたい力について考える。	○			・調べたことを発表し、昔遊びに興味をもち意欲的に取り組もうとしている。	行動観察 発言
	2 . 3	<b>情報の収集（3）</b> ○昔遊びの先生に教えてもらう。 ・探した昔遊び名人から、いろいろな昔遊びを体験したり、遊び方を詳しく教えてもらったりする。 ・教えてもらったり、つかんだりしたコツや友達のよいところ、がんばっているところを「めいじんカード」に記録する。	○			・地域の人から昔遊びを教わり、友達と教え合ったり工夫して遊んだりして、コツをカードに書いている。	行動観察 名人カード
	4	○自分が上手になりたい昔遊びを練習する。 ・工夫したり、友達と教え合ったりしながら練習し、友達とかかわる楽しさに気付く。 ・教えてもらったり、つかんだりしたコツや友達のよいところ、がんばっているところを「めいじんカード」に記録する。 【本時】		○		・友達と教え合ったり、工夫して遊んだりして、コツを考えている。	行動観察 名人カード

次	時	学習内容	評価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
二	5	<b>整理・分析（１）</b> ○「めいじんカード」をもとに、遊び方のコツや工夫を伝え合う。 ・遊びのコツについて、友達のよいところや工夫しているところと関連付けて考え、交流する。		○		・できるようになったことや友達からよいところ、工夫しているところを見付け、見付けたひみつを伝え合っている。	行動観察 発言 名人カード
	6	<b>まとめ・創造・表現（２）</b> ○昔遊び大会の準備をする。 ・昔遊び大会の計画を立て、役割分担をする。 ・来て下さった名人に招待状を書く。		○		・昔遊び大会に向けて、友達と教え合いながら準備をしている。	行動観察
	7	○昔遊び大会を開く。 ・昔遊びでできるようになった技やがんばったこと、工夫したことを地域の方に披露することを通して、かかわった楽しさを伝える。			○	・昔遊び大会を通して、友達や自分のがんばり、よさに気付いている。	行動観察
三	8	<b>振り返り（１）</b> <b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・昔遊びの体験を通して、できるようになったことや友達のがんばっていたことをまとめ交流することで自らの学びを振り返る。			○	・活動を振り返り、自分の成長や友達のがんばりに気付いている。	発言 ワークシート

## 本時の学習

### （１）本時の目標

- 自分が上手になりたい昔遊びを、友達と教え合ったり、工夫したりしながら練習することができる。

### （２）本時の評価規準

- 友達と教え合ったり、工夫して遊んだりして、自分が上手になりたい昔遊びのひみつを「めいじんカード」をもとに考えている。 **【活動や体験についての思考・表現】**

### （３）本時の学習展開（４時間目／全８時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時までの学習を振り返る。 ○昔遊び名人から、どんなひみつを見つけましたか。 ・遊び方やコツ、楽しみ方です。 ・名人はいろいろな技を見せてくれました。ぼくも早くできるようになりたいです。	◇名人カードを見ながら、教えてもらったことを想起させる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p>めあて _____</p> <p>めいじんになるために、ともだちとおしえあいながれんしゅうしよう。</p> <p><b>本時のゴールの見通し</b></p> <p>A：友達と教え合ったり，工夫して遊んだりする中で，自分や友達の変化，気付いたことや遊びのひみつを「めいじんカード」をもとに考えている。</p> <p>B：友達と教え合ったり，工夫して遊んだりする中で，気付いたことや遊びのひみつを「めいじんカード」をもとに考えている。</p>	<p>◇自分が上手になりたい昔遊びを名人に教えてもらったことを確かめながら，友達といっしょに練習することを確認する。</p>	
<p>3 グループごとに練習をする。</p> <p>○他のグループの人に伝えたいコツや楽しみ方は何か考えながら練習しましょう。</p> <p>4 グループごとにふりかえりをし，全体で交流する。</p> <p>○伝えたいコツや楽しみ方をグループでまとめましょう。</p> <p>□思考の場の工夫 <b>関連付ける</b></p> <p>遊びのコツを視点に，友達のよいところや工夫しているところを見付けている。</p> <p>・○○くんは，たまをまっすぐ上にあげてキャッチしていたよ。 (コツ)</p> <p>・二人あやとりは楽しそうだから，わたしもやってみたいな。 (楽しみ方)</p> <p>5 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◇名人に教えてもらったコツや練習する中で見つけた楽しみ方などから，どのコツや楽しみ方を伝えたいかを考えながら練習するように伝える。</p> <p>◆練習する視点を明確にするために，前時に，名人カードに記録していたことを短冊にしておく。</p> <p>◆ペア練習をしながら，友達とかかわれるように声かけをする。</p> <p>◇ホワイトボードを活用し，伝えたい順番に短冊を操作しながら話し合いをさせる。</p> <p>◇ホワイトボードを掲示し，知りたいな，詳しく聞きたいなというコツや楽しみ方を取り上げ，実演させながら，次時への学習の意欲をもたせる。</p>	<p>◎友達と教え合ったり，工夫して遊んだりして，自分が上手になりたい昔遊びのひみつを「めいじんカード」をもとに考えている。〔活動や体験についての思考・表現〕(行動観察・発言・名人カード)</p>
<p><b>★めざす児童の姿</b></p> <p>ぼくは，けんだまは，玉を皿にのせるときにひざをまげることがコツだということを教えてあげたいです。○○くんのように，ひざをまげて玉をのせる練習をして，5回連続でのせられるようにがんばりたいです。</p>		
<p>◇本時の活動について振り返らせる。</p>		

(4) 板書計画






むかしあそびたいかいをひらこう

めあて

めいじんになるために、ともだちとおしえあいながられんしゅうしよう。

◎ +まえとくらべて

○ コツ, たのしみかた

	こま 	けんだま 	めんこ 	あやとり 	おてだま 
コツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもをすばやくひく。</li> <li>・ひもがゆるまないようにまく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひざをつかう。</li> <li>・たまをよく見る。</li> <li>・足をぜんごにひらく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいてのめんこのまよこをねらって, じぶんのめんこをなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆびさきをしっかりとうごかす。</li> <li>・しゅう申する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉をリズムよく上げてとる。</li> </ul>
たのしみかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ながくまわるかた いけつをする。</li> <li>・たくさんのわざがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんのわざがある。</li> <li>・うたにあわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人ずうであそべる。</li> <li>・いろいろなあそびかたができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人でもできる</li> <li>・1本のひもでたくさんのわざができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うたにあわせるとたのしい。</li> <li>・人ずうをふやすとおもしろい。</li> </ul>

ふりかえり

- ・こまをなげたあとひもをすばやくひくとうまくまわった。
- ・うたにあわせておてだまをするとたのしかった。

<参考> 「学びのモニタリング」

海田東小 学びのモニタリング

めざせ むかしあそびたいかいをひらこう

「むかしからつたわるあそびをたのしもう」

④

べんきょうしてきづいたこと, おもったこと, これからやってみたいことなどをかきましよう。

③

むかしあそびのたのしきやともだちやちいきの人といっしょにあそぶたのしさにきづくことができました。

とても まあまあ あまり まったく

4 3 2 1

②

ともだちのよいところやくふうしているところを見つけ, あそびのコツをかんがえることができました。

とても まあまあ あまり まったく

4 3 2 1

①

ともだちやちいきの人といっしょにむかしあそびにとりくむことができました。

とても まあまあ あまり まったく

4 3 2 1